



2021 RACE REPORT

スーパー耐久シリーズ2021 Powered by Hankook

第3戦 NAPAC 富士 SUPER TEC 24 時間レース

#52 埼玉トヨペット GB クラウン RS

2021年5月21日(金) ~23日(日)

富士スピードウェイ (静岡県小山町)

■ ■ ■ ■ 2度のエンジン交換を行い6位 ■ ■ ■ ■

第3戦のレース時間は24時間。服部、吉田、川合のレギュラー3選手に加え、番場琢選手がDドライバーとして出場。平沼選手が急務により参加できなくなったのが、チームの不安要素です。ST-3クラスのエントリー台数は6台。予選日(金曜日)の天候は雨。大雨のためスケジュールは大幅に遅れ、ピットで予選再開の合図を待ち続けますが、天候が回復することはなく、15時過ぎに予選中止が確定。土曜日の決勝はポイントランキング順でのスタートとなり、ランキング1位のGreen Braveはポールポジションスタートとなりました。

決勝日(土曜日)の天候は曇り。チームは1回のスティント(走行枠)を90分前後と見込み、吉田→服部→番場→川合(以降繰り返し)とつなぐレースプランを作成。コースの状況を見ながら1人のドライバーが連続して2枠乗るダブルスティント

(ピットインを挟み90分×2回)も実施します。15時、総勢51台のマシンがスタート。吉田選手は順当なスタートをきり、トップでオープニングラップを終了。想定よりやや早い80分でスティントを消化し、作戦通り各ドライバーにつないでいきます。序盤からクラウンRSをぴったりマークしているのが#62RC350。ピットインの度にクラウンRSと順位を入れ替えており、緊張感のあるトップ争いが続きます。

レース開始から7時間を経過した22時過ぎ、コース上でアクシデントが発生。FCY(フルコースイエロー、全車50km制限)が導入されると予測したチームは、226周目の終わりにトップ走行中の吉田選手をピットに戻し、全チームに義務付けられている10分間のメンテナンスタイムを消化します。夜勤班のメカニックが素早い作業でブレーキまわりを交換。わずか7分で作業は終了し、10分経過後に服部選手のドライブでコースに復帰します。コース上では予想通りFCYが導入されており、服部選手の順位は2位。しかし、その直後に状況は一変します。228周目に服部選手がホームストレート上でストップ。クラウンRSはピットから遠く離れたリペアエリアに牽引されていきます。駆け付けた店舗メカニックがエンジンルームを確認すると、エンジン本体にトラブルを抱えており、チームはエンジン交換を決断。大量の工具やエンジンクレーン、スペアエンジンをリペアエリアに運び、わずかな照明を頼りに作業を開始します。作業が終了したのは1時過ぎで、2時過ぎに服部選手が6位でコースに復帰。5位のマシンとは70周以上の差がついています。

朝を迎えた後も各ドライバーがダブルスティントを担当し、15時のチェッカーを目指しますが、10時半頃、吉田選手が走行中に再びストップ。エンジントラブルが発生しており、チームはリペアエリアでの2回目のエンジン交換を決断します。作業を担当するのは日勤班。ダメージはミッションまで及んでおり、ミッションも交換する必要がありますが、S耐には1位の70%以上の周回数を走らないと完走と認めないというルールがあり、ギリギリのタイミングとなります。しかし、スタッフ全員が力を合わせ、13時過ぎには作業が終了。エンジン始動の際は、多くのファンから温かい拍手が贈られました。吉田選手のドライブで、13時半過ぎにコースへ。残り約1時間半を走り切り、15時にチェッカー。クラウンRSの周回数は512周で、正式結果は6位。貴重な13ポイントを獲得し、シーズン後半での逆転に望みをつなぎました。

決勝結果 (ST-3クラス)

#52 埼玉トヨペット Green Brave クラウン RS
(服部尚貴/吉田広樹/川合孝汰/番場 琢)
決勝: 6位 (512周、24時間02分03秒
261)



DRIVERS VOICE

【服部尚貴選手】

こんなにトラブルっちゃうとは思っていませんでした。24時間で2回のエンジン交換をするなんて誰も考えていなかったと思うけど、しっかりやり遂げてくれました。完走扱いになるには70%以上の周回数のボーダーラインがあって、エンジンの積み替えの時間も関係していたので、そういう意味ではメカが本当に頑張ってくれました。6位のポイント、13点をチームにプレゼントしてくれたと思います。次は24時間とは全然違う戦い方になると思いますが、まだまだチャンピオンを狙えますし、頑張りたいと思います。

【吉田広樹選手】

決勝中に2回のエンジン交換なんて、あまり聞いたことがありません。昼夜問わずメカさんが一生懸命やってくれて、夜勤班のレギュラーじゃないメンバーもしっかりこなしてくれました。しっかり作業してコースに送り出してくれたので、本当に心強かったです。今回、タイヤ交換を含め、エンジン交換とミッション交換など、いろいろな作業してもらっているのですが、みんなスキルアップを感じていると思いますし、こういう活動が、お客様のクルマの整備の時にも役立っていると思います。

【川合孝汰選手】

レースの流れ的にもすごく良かったので、一言で言うと悔しいですね。服部さんのおっしゃる通り、本当に誰も予想しなかったトラブルでした。これからはレースが続いていくので、しっかり原因を究明します。次戦もチャンスありますし、今年どうしてもチャンピオンを獲りたいので。悔しがっていても仕方がないので、次に向けて調整したいと思います。

【番場 琢選手】

2年ぶりにジョイントさせてもらったのですが、相変わらず、すごく温かいチームで、みんなイキイキしているなと思いました。2回目のエンジン交換の時、みんなのテンションが落ちちゃうかなと思ったんですけど、最後までイキイキしていました。最後の最後まであきらめないのがこのチームの真髄だとすごく感じました。ぼくも悔しかったんですけど、チームには感動しました。

MECHANIC VOICE

【レクサス所沢・滝島佑太】

サーキットに来たのは初めてです。担当はタイヤの内圧管理で、ウェットとドライなどのタイヤの種類に関しては、チームの指示を聞きながら的確にやっています。華奢な体格なので、大きなタイヤを扱うのは大変なのですが、頑張りましたし、素早く動くことは普段の仕事の参考にもなりますので、お店の後輩たちに展開していきたいと思います。

ST-3 クラス決勝結果

順位	車名(車両)	周回数
1位	HELM MOTORSPORTS RC350(レクサス RC350)	695周
2位	エアバスター 55Garage RC350 TWS(レクサス RC350)	687周
3位	岡部自動車レカロZルーニススポーツ(日産 フェアレディZ)	685周
4位	QUEEN EYES 34Z(日産 フェアレディZ)	680周
5位	エアバスター Winmax RC350 TWS(レクサス RC350)	670周
6位	埼玉トヨペット GB クラウン RS(トヨタ クラウン)	512周

出走 6台

ST-3 クラスポイントランキング

順位	ゼッケン	チーム名	ポイント
1位	62	HELM MOTORSPORTS	71
2位	244	Max Racing	63
3位	39	TRACY SPORTS with デルタ	55.5
4位	52	埼玉トヨペット Green Brave	53
5位	41	TRACY SPORTS with デルタ	50
6位	15	OKABEJIDOSHA motorsport	50

PARTNERS



赤城車体工業株式会社



アルパインマーケティング株式会社



EMG ルブリカンツ合同会社



株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



株式会社 FM NACK5



大宮クリーン社・大進カーエアコン



株式会社岡崎巧芸



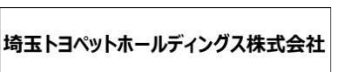
株式会社カーグラス・J P



株式会社クールホールディングス



埼玉トヨペットホールディングス株式会社



株式会社三和広告社



JU 埼玉オートオークション株式会社



株式会社テレビ埼玉



株式会社デンソーソリューション

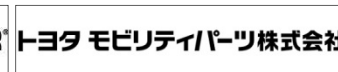


株式会社トイファクトリー

インターナショナル



株式会社ドーム



トヨタモビリティパーツ株式会社



トヨタホーム東京株式会社



株式会社トヨタレンタリース新埼玉



株式会社ハッピーライフ彩生



株式会社プロモーション



株式会社プロモーション



丸和工業株式会社